

安全データシート

1. 製品及び会社情報
- 製品名 : スマノール
- 会社名 : ヤヨイ化学工業株式会社
住 所 : 〒939-1272 富山県高岡市下麻生 4649
担当部門・担当者 : 品質管理部 荒崎
連絡先 : TEL 0766-36-2800 FAX 0766-36-2050
緊急時の連絡先 : 同上
推奨用途及び使用の制限 : 接着剤（壁紙・建具施工用）
-
2. 危険有害性の要約
- GHS 分類 : 現時点ですべての項目に対して「分類対象外」、「分類できない」、もしくは「区分外」である。
- GHS ラベル要素
シンボル : なし
注意喚起語 : なし
危険有害性情報 : なし
- 注意書き : “4. 応急措置”以降の項目を参照ください。
-
3. 組成及び成分情報
- 単一製品・混合物の区別 : 混合物
化学名又は一般名 : でん粉系接着剤
- 成分及び含有量
- | 成 分 | 含有量 | 化学式又は構造式 | CAS.No. | 官報公示整理番号
化審法 |
|---|------------------|----------------------------------|--------------------|------------------|
| でん粉・酢酸ビニル樹脂 防腐・防カビ剤 (安息香酸ナトリウム) (イミダゾール系化合物) | 25～29% 0.2%以下 | — <chem>C6H5COONa</chem> — | — 532-32-1 — | — 3-1293 — |
| 水 | 71～75% | <chem>H2O</chem> | 7732.18-5 | — |
- ※ホルムアルデヒド等厚生労働省が指定する化学物質（13物質）は使用していません。
※ホルムアルデヒド放散量に関する表示：F☆☆☆☆（JIS A 6922）
-
4. 応急措置
- 吸入した場合 : 吸入して気分が悪くなった場合は空気の新鮮な場所に移動させて安静、保温に努め、場合によっては医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 濡れタオル等で拭き取った後、水洗いする。
- 眼に入った場合 : 直ちに流水で数分間注意深く洗い、場合によっては医師の手当てを受ける。
コンタクトレンズを着用している場合は、固着していない限り、取り除いて洗浄する。
- 飲み込んだ場合 : 誤って飲み込んだ場合は、微温水を与えて吐き出させる。
場合によっては医師の手当てを受ける。
-
5. 火災時の措置
- 消火剤 : 水、炭酸ガス、粉末（ドライケミカル）、耐アルコール泡等
消火方法 : このもの自体には可燃性はない。
水分蒸発後の乾燥物は可燃性であり、燃焼の際は火元への燃焼源を断ち、注水、水噴霧、各種消火剤を用いて風上から消火する。
- その他 : 消火の際は、呼吸保護具、耐熱着衣等を着用する。
-
6. 漏出時の措置
- 人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置 : 作業の際は適切な保護具（保護手袋等）を着用する。

| | |
|-----------------|---|
| 環境に対する注意事項 | : 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。 洗淨した汚水を含め、河川等に流出させない。もし、河川等に流出した場合は、速やかに所轄監督庁等に届け出る。 |
| 封じ込め及び浄化の方法及び機材 | : 漏洩物を空容器に回収し、更にオガクズ、ウエス、乾燥砂等に吸収させ回収する。 |

| | | |
|----------------|------|---|
| 7. 取扱い及び保管上の注意 | 取扱い | : 手、体に付着した場合はその都度濡れタオル等で拭き取り、場合によっては水洗いすること。 使用後、接着剤の入っていたポリエチレン袋は、中味を極力使いきった後、付着している接着剤を乾燥させてから焼却処分、もしくは産業廃棄物として廃棄すること。 |
| | 衛生対策 | : 飲み込みを避けること。 取扱い後は、手、顔等をよく洗いうがいをすること。 |
| | 保管 | : 直射日光を避け屋内の冷暗所に定めて保管すること。 凍結させないこと。 保管時の温度は 5℃～40℃の範囲のこと。 (車中などでの保管は避けること) 水の掛かる場所や湿度の高い場所での保管は避けること。 開封後は速やかに使い切ること。残った場合は、密閉して冷暗所に保管し、速やかに使用すること。 子供の手の届かないところに保管すること。 |

| | | |
|----------------|------|---|
| 8. ばく露防止及び保護措置 | 管理濃度 | : 設定されていない。 |
| | 許容濃度 | : 設定されていない。 |
| | 設備対策 | : 不要。 |
| | 保護具 | : 基本的には不要。 添加剤等を使用する場合は、対応する保護具を用いること。 |

| | | |
|---------------|--------------------------|--------------------------------------|
| 9. 物理的及び化学的性質 | 外 観 | : 白色ペースト状 |
| | 臭 い | : 基本的には無臭だが、かすかに天然でん粉臭有。乾燥後は臭気無し。 |
| | 臭いのしきい (閾) 値 | : データなし |
| | p H | : 4.0～6.0 (23℃) |
| | 融点・凝固点 | : 0℃ [水] |
| | 沸 点 | : 100℃ [水] |
| | 初留点と沸点範囲 | : データなし |
| | 引火点 | : 100℃未満では引火しない。 |
| | 蒸発速度 | : データなし |
| | 燃焼性 (固体・気体) | : データなし |
| | 爆発範囲 | : データなし |
| | 蒸気圧 | : データなし |
| | 蒸気密度 (空気=1) | : データなし |
| | 比重 (密度) | : 1.00～1.20 (23℃) |
| | 溶解度 | : 水で希釈可能、乾燥物は水で軟化。 (実測による数値データなし) |
| | n-オクタノール/水分配係数 | : データなし |
| 自然発火温度 | : データなし | |
| 分解温度 | : データなし | |
| 粘 度 | : 150～350Pa・s (23℃/4rpm) | |

| | | |
|--------------|------------|-----------------------|
| 10. 安定性及び反応性 | 安定性 | : 通常の実験条件下においては安定である。 |
| | 危険有害反応可能性 | : 現在のところ知見なし。 |
| | 避けるべき条件 | : 現在のところ知見なし。 |
| | 混触危険物質 | : 現在のところ知見なし。 |
| | 危険有害な分解生成物 | : 現在のところ知見なし。 |

| | | |
|-----------|--------------|-----------------------------------|
| 11. 有害性情報 | 急性毒性 | : 成分の全ての参考値が区分外、知見なし、もしくは閾値未満である。 |
| | 皮膚腐食性及び皮膚刺激性 | : 現在のところ知見なし。 |

眼に対する重篤な損傷
 又は眼刺激性 : 現在のところ知見なし。
 呼吸器感作性又は
 皮膚感作性 : 現在のところ知見なし。
 生殖細胞変異原生 : 現在のところ知見なし。
 発がん性 : 現在のところ知見なし。
 生殖毒性 : 現在のところ知見なし。
 特定標的臓器・全身毒性
 (単回ばく露) : 現在のところ知見なし。
 特定標的臓器・全身毒性
 (反復ばく露) : 現在のところ知見なし。
 吸引性呼吸器有害性 : 現在のところ知見なし。

12. 環境影響情報

生態毒性 : 現在のところ知見なし。
 残留性／分解性 : 現在のところ知見なし。
 生体蓄積性 : 現在のところ知見なし。
 土壌中の移動性 : 現在のところ知見なし。
 オゾン層への有害性 : モントリオール議定書の附属書に記された成分は含まれていない。

13. 廃棄上の注意

産業廃棄物として廃棄物の処理及び清掃に関する法律並びに都道府県条例等に基づく許可を受けた処理業者に委託する。製品使用後の容器や拭き取ったウェス等を焼却するときは、付着した接着剤を乾燥させてから焼却する。

14. 輸送上の注意

国連番号 : 分類基準に該当しない。
 品名 (国連輸送品名) : 分類基準に該当しない。
 国連分類 : 分類基準に該当しない。
 容器等級 : 分類基準に該当しない。
 海洋汚染物質 : 分類基準に該当しない。
 安全対策及び条件 : 容器の破損、漏れのないことを確かめ、衝撃、転倒、落下、容器破損のないよう積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

15. 適用法令

消防法 : 該当しない
 労働安全衛生法 : 該当しない
 化学物質管理促進法
 (PRTR 法) : 該当しない
 毒物及び劇物取締法 : 該当しない

16. その他の情報

JIS A 6922 (壁紙施工用及び建具用でん粉系接着剤) 認証品 認証番号 : CE0415001
 有効期間 : 6ヶ月間 (未開封の場合)

記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては情報提供であり、いかなる保証もなすものではありません。
 また、記載事項は通常の取扱いを対象としたものですので、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

参考資料 : JIS Z 7252:2014 GHS に基づく化学品の分類方法
 JIS Z 7253:2012 GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法
 ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート (SDS)
 独立行政法人製品評価技術基盤機構「GHS 分類結果データベース」